

社会福祉学科			介護福祉 専攻			
科目名: こころとからだのしくみⅡ			担当教員 氏名: 吉田 良昌			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	後期	専門科目	講義	必修	介護福祉士国家試験受験資格(必修) 社会福祉主事任用資格
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			施設において、必要とされる介護福祉士になるための心構え、よい習慣について説明します。			
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
「こころとからだのしくみⅡ」は、介護サービスを提供する際の身体的な根拠を理解していくための授業となる。人体の基本的な構造や機能及びその病的状態について理解し、代表的な疾患についてその概要を理解する。また、介護者の異常を発見し、すぐに報告できる能力を身につけるとともに、保健医療対策と医事法制の概要について理解する。					人体の解剖と生理機能 主な疾患の特徴 介護福祉士の心構え 介護理論	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10	
B 専門的技術			知識と実践の両方の専門技術を身につける			
A 知識・理解力			講義内容を理解する、勉強に集中する、やり遂げるという習慣を身につける			
D 問題解決力			自分で工夫し、わからなければ先輩に質問する能力			
H コミュニケーション力			他のスタッフと協調して仕事をすることができる			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 0 %		レポート: 50 %		発表: 30 %		実技試験: 0 %
その他: 20 %						
特記事項: 自己学習内容をわかりやすく発表できること。グループディスカッションでしっかり意見が言えること。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: レポート形式で提出する。各学期ごとに行う						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 採点して返却します						
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)	
					学習内容	学習に必要な時間(分)
①からだのしくみを学ぶ意義					テキスト、スライド	60分
②人体の構造の概要を理解する					テキスト、スライド	60分
③神経系・心血管系を理解する					テキスト、スライド	60分
④呼吸器系の理解					テキスト、スライド	60分
⑤消化系・代謝系の理解					テキスト、スライド	60分
⑥尿路・性器系の理解					テキスト、スライド	60分
⑦中間のまとめ					テキスト	60分
⑧皮膚及び関連部位に理解					テキスト、スライド	60分
⑨筋骨系の理解					テキスト、スライド	60分
⑩ボディメカニクス・関節可動域の理解					テキスト、スライド	60分
⑪バイタルサイン・恒常性(ホメオスタシス)の理解					テキスト、スライド	60分
⑫主な変性疾患の特徴					テキスト、スライド	60分
⑬生活習慣病					テキスト、スライド	60分
⑭総括					テキスト	60分
⑮「看とり」について					DVDなど	60分
使用テキスト: 新・介護福祉士養成講座14「こころとからだのしくみ」中央法規出版					その他参考文献など:	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): テキストを中心に授業しますが、適時スライド、DVDを使用します						